
ともかくスタンダード

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ともかくスタンダード

【Nコード】

N5764L

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

ギャグ的にはわしのスタンダード。キャストは、河野夜兎、大輔華子、ごほんライス。

華子は米田が死ぬほど好きであった。無論、米田には河野という彼女がいた。しかし、華子は何とかして米田を奪いたかった。

そこで華子がつった行動は、米田の誘拐であった。米田が会社から出てきた瞬間、後ろから頭を鉄パイプで叩き気絶させ、袋に詰めて走った。華子は、やったぜやったぜベイビーと頭の中で歌った。

しかし、誤算だった。その日は12月24日、つまりクリスマスアイブだったのだ。袋をかついで走る華子をちびつこたちがサンタクロースと勘違いして群がってきたのだ。

「サンタさん。プレゼントちよーだーい」

「あたしもー」

華子は無視してもよかったが子供が嫌いじゃない。しかも華子は頭が少し軽いので、なんだか自分が本当のサンタになった気分になってしまい、つい袋の中身をちびつこたちに見せてしまった。

「きゃーーっ」

「こわーーい」

当然、華子は刑務所に入った。

数年後、出所し、華子は方法を変えることにした。今度は米田を狙わず、彼女の河野を殺害する計画を立てた。

まず河野を落とし穴に入れて捕獲することにした。河野はウナギが好きなので落とし穴の上にウナギの蒲焼きをさりげに置いておいた。野良犬が食べようとするので華子はマシンガンで野良犬を撃った。

河野が勤務先の工場から出てきた。蒲焼きを発見し、猛スピードで走る河野。狙い通りだ。

しかし、誤算だった。ウナギの蒲焼きが逃げたのだ。河野があまりにマジだったので怖くなったのだらう。落とし穴から離れ逃げた。

河野はそれを追いかけたので落とし穴はまったく無意味になってしまった。見れば、落とし穴に関係ないサラリーマンのおっさんがは

まっていた。華子はイラついていたので、おっさんのはげ頭めがけて放尿した。「あづいいいいいいいい」

華子はだんだんめんどくさくなってきた。もう米田のことあきらめようかなと思っていた。

数日後、ニュースで河野が何者かに殺害されたというのを観た。華子はチャンスだと思った。今こそ、米田を奪い取る時よ。華子はラブレターを書いたりセーターを編んだりしていた。そうしてるうちに、新聞で米田殺害の記事を読んだ。華子がムカついて新聞に向かって怒鳴ってるとき。

がしゃーーーーん。

窓ガラスを割り、ものすごい勢いで野球ボールが華子の部屋に飛び込んだ。

華子の後頭部に直撃し、華子は死んだ。

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5764/>

ともかくスタンダード

2010年10月21日20時14分発行